

保育理念	大事な時期だからこそしっかり育てたい	本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響を踏まえた上での、保育理念の達成 ・全職員及び事業関係者の安全の確保と、業務遂行のための援助 ・卒園児・卒園児家庭を含めた地域支援及び、貢献活動の継続
------	--------------------	----------	---

	項目	内容	目標・計画	今年度の状況と課題	来年度の目標
1	事業	就学前の子どもに関する教育・保育	生き抜く力の基礎を持つ	職員の柔軟な対応、工夫が求められる中、全職員が協力、連携し合うことで保育理念の達成にも繋がった。担任だけでなく全体意見を取り入れながら保護者の心情に寄り添い、より一層の細やかな対応が求められる	個々の育ちが十分に保障されるよう“幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿”の活用を内部研修でも取り入れて計画を遂行していく。人材育成においても一層の研修、指導の充実を図る
		子育て支援及び地域子育て支援事業	充実した子育て環境の構築		
		病児保育事業	保護者の子育てと就労の両立支援		
		特別支援児の教育・保育	特別支援教育サポート事業の実施		
		小学校との連携及び就学児支援	円滑な接続に向けた工夫		
		地域貢献活動	地域行事へ参加し園への理解を深める		
2	事業を支える分野別取組み	運営：運営規程、健康管理、虐待防止他	保幼小連携について園児のみならず保護者を巻き込んだ活動の推進 支援児の保育環境を豊かにするための専門機関からの指導	小学校との連携は制限がある中でも情報共有は図れた。専門機関へのサポート体制や連携を取り入れ、育ちを保障していく	小学校との接続を丁寧に進めると共に、地域社会、専門機関への連携、つながりを大切にしていく
		教育・保育：環境設定、食事提供他			
		支援：保護者支援、特別・地域支援他			
		連携：保幼小連携、地域や専門機関等			
3	職員自己点検	教育・保育	職員の専門性を高めるために、外部への研修も含め多くの研修に参加する 日常的に職員同士が保育教諭の質の向上を目指して話し合う	外部研修へはオンライン等を活用し研修への参加を図れた。 職員全体での子どもへの関わりを大切にす意識は高いが自己の価値を高め、視野を広げていくことが必要	コロナ対策をしながらも合計点が低かった事柄について反省、評価を行い、改善をしていく
		子どもとの関わり			
		子育て支援			
		職員連携			
		自身について			

総評	今年度の状況と課題	来年度の目標	来年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・“幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿”の積極的活用 ・組織強化のための内部研修の充実と人材育成 ・卒園児・卒園児家庭を含めた地域支援及び、貢献活動の継続
	時々の状況により最善の方法を取り入れ保育教育を実施できた	職員対応や環境構成において柔軟な対応を図り、保育理念達成に努める		